

「第28回 岡本太郎現代芸術賞(TARO 賞)」展

授賞式・プレス内覧会 ご招待

日程 2025年2月22日(土) 14:30~15:30 (受付 14:00~)
会場 川崎市岡本太郎美術館(生田緑地内) ガイダンスホール
※授賞式後には集合写真をお撮りいただけます。



▲ 01.第28回岡本太郎現代芸術賞(TARO 賞)展
ポスタービジュアル

過去入賞作品



◀ 02.

つん《今日も「あなぐまち」で生きていく》2024年
※第27回岡本太郎賞受賞作品



▶ 03.

三角瞳《This is a life. This is our life.》
2024年

※第27回岡本敏子賞受賞作品

川崎市岡本太郎美術館では、2025年2月22日(土)に「第28回岡本太郎現代芸術賞(TARO 賞)」の授賞式を行います。

現代美術の登竜門であるTARO賞。今年で28回目を迎えた本賞では、579点の応募があり、厳正な審査を行いました結果、24名が入選を果たしました。

受賞者は2025年2月上旬の最終審査を経て決定、2月22日(土)の授賞式にて発表致します。皆様のご出席を賜りたく、ご案内申し上げます。

ご出席いただける場合には、お手数ではございますが、別紙の申込書に必要事項をご記入の上、2月19日(水)17時までにFAXもしくはメールにてお知らせくださいますようお願い申し上げます。

お問い合わせ

川崎市岡本太郎美術館 展覧会担当：加藤、片岡、鈴木、細川 広報担当：山内 (pr@taromuseum.jp)
〒214-0032 神奈川県川崎市多摩区枳形 7-1-5 生田緑地内
TEL：044-900-9898 / FAX：044-900-9966 <https://www.taromuseum.jp>





展覧会プレスリリース

「第28回岡本太郎現代芸術賞(TARO賞)展」

The 28th Exhibition of the Taro Okamoto Award for Contemporary Art

時代を創造する者は誰か！

1954年、岡本太郎43歳のときに出版された『今日の芸術』。この本には「時代を創造する者は誰か」というサブタイトルがつけられていました。

1996年、岡本太郎没、享年84歳。

その直後、岡本太郎記念現代芸術大賞（2006年岡本太郎現代芸術賞に改称）、通称「TARO賞」が創設されました。彼の遺志を継ぎ、まさに「時代を創造する者は誰か」を問うための賞。今年で28回目を迎えた本賞では、579点の応募があり、厳正な審査の結果、24名が入選を果たしました。

入選作品は、川崎市岡本太郎美術館「第28回岡本太郎現代芸術賞(TARO賞)展」にて公開いたします。21世紀における芸術の新しい可能性を探る、「ペラポーな」（太郎がよく使った言葉です）作品をご覧ください。



04.岡本太郎(1962年)

開催概要

会場	川崎市岡本太郎美術館 企画展示室
会期	2025年2月23日(日・祝)～4月13日(日)
主催	川崎市岡本太郎美術館、公益財団法人岡本太郎記念現代芸術振興財団
開館時間	9:30～17:00(入館は16:30まで)
休館日	月曜日(2/24、3/24、3/31、4/7を除く)、2/25(火)、3/11(火)、3/12(水)、3/21(金)、ほか臨時休館あり
観覧料	一般700(560)円、高・大学生、65歳以上500(400)円、中学生以下は無料 ※()内は20名以上の団体料金 ※本料金で常設展もご覧いただけます。

同時開催：常設展「私の現代芸術—コンペイ党宣言」 会期：2025年1月18日(土)～4月13日(日)

入選者(50音順)

井下 紗希 ISHITA Saki	陳 昱如 CHEN Yuru	増田 充高 MASUDA Michitaka
IWACO	土田 祐加 DOTA Yuka	丸山 千香子 MARUYAMA Chikako
大岩 美葉 OHIWA Miyou	どばしほのか DOBASHI Honoka	武藤 攝 MUTO Osamu
神村 あづさ KAMIMURA Azusa	仲村 浩一 NAKAMURA Hirokazu	毛利 華子 MOHRI Hanako
木原 健志郎 KIHARA Kenshiro	西野 萌黄 NISHINO Moegi	望月 章司 MOCHIZUKI Shoji
黒田 恵枝 KURODA Yoshie	英 ゆう HANABUSA Yu	矢成 光生 YANARI Mitsuo
齋藤 玄輔 SAITO Gensuke	濱本 菜花 HAMAMOTO Nanaka	山下 茜里 YAMASHITA Akari
斎藤 翼 SAITO Tsubasa	前田 明日美 MAEDA Asumi	山田 歩 YAMADA Ayumu



出品作品

入選者による 平面、立体、映像、インスタレーション作品、他 24点

審査員(50音順)

榎木野衣 : 美術批評家／多摩美術大学教授
 土方明司 : 川崎市岡本太郎美術館館長
 平野暁臣 : 空間メディアプロデューサー／岡本太郎記念館館長
 山下裕二 : 美術史家／明治学院大学教授
 和多利浩一 : ワタリウム美術館キュレーター

関連イベント

1) お気に入りを選ぼう！

第28回 TARO 賞入選作品の中から、ご来館の皆さまにお気に入り作品を投票していただきます。投票の結果は、ホームページ等で発表するとともに、上位の作家には記念品を進呈します。

日時：2025年2月23日（日・祝）～3月23日（日）
 場所：ギャラリースペース
 結果発表：2025年3月29日（土）（予定）
 ※展示作品をご覧になるには、観覧料が必要です。



2) お手紙プロジェクト

来館者が第28回 TARO 賞入選作家にお手紙を書くイベントです。

日時：2025年2月23日（日・祝）～4月13日（日）
 場所：ギャラリースペース



3) 第28回 TARO 賞リレートーク

入選作家によるリレートークを行います。

日時：未定（会期中4回程度実施予定）
 場所：企画展示室
 ※ご覧になるには、観覧料が必要です。

その他、関連イベントの詳細につきましては、当館ホームページでお知らせいたします。
 川崎市岡本太郎美術館ホームページ <https://www.taromuseum.jp>

写真撮影・SNS 等への画像掲載について

本展覧会は、会場内をご自由に撮影することができます。SNS 等への発信も可能です。

（※動画撮影、フラッシュ撮影、三脚・自撮り棒・ジンバル等の器材の使用は不可）

会場や作品の様子が SNS 等を通じてシェアされ、来館者と作家とのコミュニケーションのきっかけになればと考えています。

お問い合わせ

川崎市岡本太郎美術館 展覧会担当：加藤、片岡、鈴木、細川 広報担当：山内 (pr@taromuseum.jp)
 〒214-0032 神奈川県川崎市多摩区枳形 7-1-5 生田緑地内
 TEL：044-900-9898 / FAX：044-900-9966 <https://www.taromuseum.jp>

